

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市若林区文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 42,478人（前年度比 142.3%） ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、利用の自粛要請や新規の利用停止、夜間の利用自粛要請、カラオケを目的とした利用の自粛要請等を行った。 ・令和2年度 29,857人 ・令和元年度 37,315人	
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施	
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 155,093千円（148,383千円） ・その他市が負担した費用 76,357千円（10,552千円） 《収入》 ・使用料収入 16,856千円（13,306千円） ・その他収入 635千円（800千円）	（ ）は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施（令和3年10月8日～令和3年10月25日） ・「お客様の声カード」の設置（通年） ・利用者懇談会（ミュージックギャラリー）の実施（令和3年12月11日）	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	条例等に基づき、利用者に公正・公平な施設の貸出を行っている。 コロナ禍によるイベントの縮小、ニーズの多様化などが求められる中においても、感染症対策の徹底、オンライン配信の導入等により、積極的に事業を展開し、市民の文化活動の提供場であり続けている。	21/21
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績は良好であり、配置状況も適切である。 個人情報の取扱いや情報セキュリティ対策においては、研修や定例打ち合わせを通じた意識高揚、施錠式キャビネットへの収納など、ソフト・ハード両面で望ましい管理運営体制が構築されている。 また事故、災害発生時の対応体制についてはマニュアル等に基づき、迅速な対応ができた。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設・設備の維持管理業務においては、日常の自主点検に力を入れており、危険箇所の早期発見に努め、区への報告も速やかに行っている。また、施設の瑕疵による事故等は発生していない。 環境への配慮についても、仙台市環境行動計画に則り、積極的なごみ減量化・リサイクルに努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	財団本部や仙台市の主催する研修等への受講に努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。 また、独自のセルフチェックシートを活用し、組織として定期的にサービスの質を見つめなおす機会を設けている。	28/28
V 施設固有の基準	併設7機関合同での月例連絡会議や、安全安心パトロールなどを実施しており、それぞれの事業にかかわる情報交換、事業の共催など、併設機関と連携した施設管理が行われている。 近隣住民が集まる各種委員会、催事への参加や、こまめな植栽剪定、清掃の実施など、近隣住民・組織とも良好な関係を築けている。	6/6

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス流行の状況下、市の感染対策ガイドライン等に準拠し、コロナ禍における文化芸術活動機会の提供方法を探り、安全安心を基礎としながら文化芸術施設としての役割を発揮できるよう収束後を見据えて運営業務にあたった。</p> <p>施設設備等の維持管理については善良なる管理者としての注意義務を全うし、施設設備等の保守点検や小破修繕を行い、良好な状態の維持管理に努めた。近年増加傾向にある設備等の老朽化や経年劣化による不具合については、貴市への現状報告、対応策協議など適切な施設の維持管理に努めた。</p> <p>防災危機管理については近隣7公共機関と連携協力し、共同防火管理協議会を設置、災害時の通報連絡や初期消火、避難誘導等を相互に連携して適切に対処できるよう訓練を実施した。またAED操作方法や心肺蘇生方法等の救急救命講習を行い、有事の際のお客様安全確保に備えた。併せて定期的安全パトロールを実施し事故の未然防止に努めた。</p> <p>利用者増進への取組みについては、昨今の環境下に応じオンライン情報提供推進のために開設した、公式動画チャンネルにおいて、当財団30周年記念コンサートの模様をライブ配信するなど、コロナ禍時代の文化・芸術情報の提供手段としてオンラインメディアツールを積極的に活用した。</p> <p>また、使用申込の受付窓口においては、ホール等施設利用者への事前聴き取りにより附帯設備の使用有無を確認し、使用前に事前の操作方法を確認するなど、利用者がスムーズかつ快適に施設を利用できるように努めた。</p> <p>自主事業についてはコロナ禍収束後に次へと繋ぐ手掛かりとするため、現況可能な感染対策を十分行ったうえで、ダンスフェスティバルや童謡フェスティバル、また新規に吹奏楽フェスティバル等のコンサートを適切規模で開催した。</p> <p>以上により管理運営の業務を遂行することができたものと捉えている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>条例及び事業計画書に基づき良好な運営関係が行われている。</p> <p>大規模改修を控え施設の経年劣化が進む中、自主点検を積極的に行い、些細なことでも速やかに区へ情報提供を行う体制が整っている。3月に発生した地震では一時ホールの利用休止を余儀なくされたものの、区、業者、利用者への速やかかつ適切な情報提供により大きなトラブルなく修繕をすることができた。</p> <p>また、ダンスフェスティバルや童謡フェスティバル等の有観客での実施、あるいは利用者の求めに応じて利用設備の拡充を行うなど、コロナウイルス感染状況の変化や利用者の価値観の多様化など、刻々と状況が変わる中であって、利用者に満足いただけるサービス提供に努めている。</p> <p>さらには併設機関との関係も良好である。関係7機関合同で施設の自主点検や見学ツアーを行ったり、区中央市民センターと共同で写真展を開催するなど、互いに協力しあいながら事業を行っていく信頼関係が構築されている点は評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：若林区まちづくり推進部まちづくり推進課